

流転の海 (1990)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

時間 128分

初公開日 1990/11/03

公開情報 東宝

【解説】

宮本輝原作の同名大河小説（第一部）を映画化。監督は斎藤武市、脚本は須川栄三がそれぞれ務めた。撮影は岡崎宏三が担当している。主演に森繁久彌を迎え、終戦直後の大阪で生き抜く疎開帰りの破天荒な商人の生き様を描く。

終戦直後、伊予一本松の疎開先から廃墟と化した大阪に戻った松坂熊吾は、自らの土地がヤミで占領されていたため、仕切り屋のヤクザらと勝負して土地を取り戻した。灘の仮住まいに帰宅すると、妻の房江が出産、熊吾は50にして父となる。自動車関係の商売を始めたかつては小僧だった海老原との確執など、商売を続けていく熊吾には休まる暇もない。芸者の千代鶴との再会、貴族家の亜矢子との出会いなどを経て熊吾は道を切り拓いてゆく。やがて、部下の辻堂が、亜矢子と通じていることが発覚する。

【クレジット】

監督	斎藤武市
企画	務台猛雄 田中正雄 亀井欽一 神先頌尚
製作指揮	漆戸靖治
プロデューサー	平井保 菊池昭康 佐藤雅夫 河西裕
原作	宮本輝
脚本	須川栄三
撮影監督	岡崎宏三
撮影	酒井良一
美術	内藤昭
編集	玉木濬夫
音楽	池辺晋一郎
総指揮	岩淵康郎
照明	下村一夫
助監督	藤原敏之
出演	森繁久彌 野川由美子 佐藤浩市

浅野ゆう子
露口茂
芦屋雁之助
三浦友和
多岐川裕美
西郷輝彦
かたせ梨乃